

好きです♡看護

Kagawa Nursing Federation Communication Book

2022年度 会員数 4,110名
2023年度 会員数 3,942名 (2023.7.31現在)

vol. 16

2023.8

発行所 / 香川県看護連盟
香川県高松市国分寺町国分152-4
責任者 / 中村 明美

かがわ



撮影者 広報委員 山本真吾

Contents

- 2 ごあいさつ
- 3 看護職代表議員の活動だより
- 4・5・6 日本看護連盟通常総会
香川県看護連盟通常総会
香川県看護連盟活動報告
 - ・新人研修
 - ・リーダー研修 I-II
 - ・OB支部記念集会
 - ・支部集会
- 7 青年部活動報告
 - ・ポリナビワークショップ in かがわ
 - ・全国青年部代表者ミーティング
 - ・看護政策を学ぼう
- 8 ごあんない

ごあいさつ



香川県看護連盟 会長 中村明美

ジェットストリームのボールペンの書き心地はいかがでしょう。ささやかですが会費還元として実施いたしました。看護に係る課題は、山積しています。現場から逃げ出したい看護職がいるということは、決して安心して働ける環境ではないということです。誇りを持って、生き活きと看護職が働き続けられる環境づくりのために、必要な政策を実現していく政治活動をするのが看護連盟です。その活動は、看護職一人ひとりの参加なくしてはできません。公務員の看護職の方々は①会員となって、②選挙に行き、③現場の声を届ける事をしていただきたいです。皆さまのご支援あっての香川県看護連盟、お一人でも多くの方に会員になっていただきたいです。



日本看護連盟 会長 高原静子

会員の皆様には日本看護連盟事業にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が緩やかに増加している状況下で様々な場所で感染症に対応して頂いている会員の皆様に心から感謝と敬意を表します。

コロナ禍で医療・看護提供体制に係る様々な課題が顕在化し、看護職の存在の重要性が認識されました。看護が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、持続可能で質の高い医療・看護提供体制を構築していくことが必要です。

また政策を創出・改正するためには政策を決定する国会や地方議会の場で看護の声や意見を代弁することができる人材を国会に送り出すことも重要です。2023年度日本看護連盟総会では次期参議院の組織内候補者予定者に「石田まさひろ参議院議員」が決定しました。

「現場の声」を届ける私たち組織の声こそが、政治を動かす原動力となります。看護政策の実現のため、ともに力を合わせ進んでまいりましょう。



香川県看護協会 会長 安藤幸代

日頃より看護協会へのご支援ご協力ありがとうございます。

今年も猛暑の日々、また新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったとはいえ再燃しており対応しているすべての看護職の皆様のご努力に感謝申し上げます。

さて、香川県看護協会では、今年度9月から感染管理認定看護師（B課程）の教育機関となり入学試験も終わり9月1日開講に向け鋭意準備しているところです。派遣施設や実習機関等の協力を得て今後県内で活躍する人材を育成します。皆さんの病院に実習に行ったときにはよろしく願います。今回の取り組みに当たっては昨年中村連盟会長と共に県議会にもお願いに参り、県からの助成を頂けることになりました。来年度までの2回のみの開催となります。次年度トライをしてみませんか？

看護職代表議員の活動だより

衆議院議員 あべ俊子



少子化時代における
看護の展望について講演



ABEイニシアティブ交流会

「少子化社会におけるこれからの看護」

いつもご支援いただきましてありがとうございます。今後、人口減少が進む中、人材を確保することはもちろんのこと、効率と生産性を重視した働き方への支援が必要です。限られた時間、労働力の中で、質が高く効率のよい看護を提供するにはどうしたらよいか、と常に考えています。

昨今、生成系AIの技術革新が注目されています。信頼性や倫理的な課題を含みながらも、有益なツールとして様々な業種で導入されています。現在、AI活用のメリット・デメリットを理解した上で、看護の現場にどのように活用できるのかを模索しています。記録や書類作成の自動化ができれば、患者さんと直接対話したり、ケアを提供する時間を増やすことができるかもしれません。生成系AIの活用は、看護師の仕事をより鮮明にするのではないかと考えています。

看護を『選ばれる職業』にしたい。看護師の新しい働き方を、皆さまと一緒に創り上げて参ります。

衆議院議員 たかがい恵美子



内閣委員会で答弁



加藤厚生労働大臣へ申し入れ

盛夏の候、香川県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらず後進の育成や看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。たかがい恵美子も皆様の温かい励ましの下、衆議院では厚生労働委員会、東日本大震災復興特別委員会に籍を頂戴しております。また党政調では引き続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長、女性の生涯の健康プロジェクトチームの座長を務め、先の国会では理解増進法を成立させていただきました。

来年度から始まる第三次健康日本21では、女性の生涯の健康が戦略の新たな柱となり、女性活躍・男女共同参画の重点方針2023等には、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が項立てされています。

年末には診療報酬と介護報酬の同時改定作業が本格化しますので、技術に見合う報酬評価とライフコースに沿った働き方改革のため、一層気を引き締めて精進して参ります。

参議院議員 石田まさひろ

厚生労働委員会で質問



日本看護連盟通常総会にてご挨拶

香川県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を進めねばなりません。今こそ、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等を大幅に引き上げる必要があります。現在、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。

6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 友納理緒

委員会で質問



加藤厚生労働大臣への申し入れ

平素よりお世話になっております。参議院議員として、約1年が経過しました。年始から始まった第211回通常国会も閉会し、少しほっとしています。開会中は、参議院の委員会、党の会議など様々な場で、看護職の処遇改善、専門性の発揮、訪問看護への支援などについて訴えて参りました。「訪問看護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方向性を示す骨太の方針2023に記載がされ、今後の展開が期待されます。

閉会中も参議院の閉会中審査や自民党の会議がありますので、医療・看護に係わるものを中心に出席し意見を述べるとともに、これまで皆さまからうかがった様々な課題の解決に向けて厚生労働省との協議を行っています。

現場の声を国政に！立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

2023年度日本看護連盟通常総会に参加して

キナシ大林支部支部長 天雲知春

2023年6月13日(火)、東京タワーが間近に見えるホテル(ザ・プリンスパークタワー東京)で日本看護連盟通常総会が行われました。全国から代議員 536 名・中央役員 16 名・顧問 3 名・都道府県会長 41 名(6 名は中央役員) 名誉会員 7 名が出席し、香川県からは中村看護連盟会長、安藤看護協会会長、代議員として私を含め 12 名が参加しました。

最初に日本看護連盟会長：高原静子氏からの挨拶があり、新型コロナウイルス感染症の発症から 3 年余りが経ち 5 月 8 日から 5 類感染症に移行しましたが、新型コロナ感染症が収束したわけではなく、このような状況で医療や介護、地域のさまざまな場所で新型コロナウイルス感染症と闘っている会員への感謝と敬意が述べられました。また、コロナ禍において看護の存在の重要性が認識され、2022 年 2 月に始まった補助金事業、10 月からの「看護職員処遇改善評価料」の新設、2023 年 4 月からの「国家公務員医療職棒給表(三)」の改正と看護職に追い風が吹くことになり、このことは看護職議員、看護連盟、看護協会が協力・連携し一丸となり勝ち取った賜物であることを強調されていました。

来賓祝辞では、日本看護協会会長：高橋弘枝氏、自由民主党総裁：岸田文雄氏、参議院自由民主党幹事長：世耕弘成氏、厚生労働大臣：加藤勝信氏、文部科学大臣：永岡桂子氏、衆議院議員：阿部俊子氏・高階恵美子氏、参議院議員：石田昌宏氏・友納理緒氏からの挨拶やビデオメッセージがあり、会場では、実際の声やスクリーンに映し出される表情などから看護連盟(看護職)に対する熱意が伝わってきました。

2023 年度のスローガンは、『届けよう看護の声を！私たちの未来へ』です。それぞれの場所で「看護職を選んで良かった」「自分のやりたい看護ができた」と日々実感できるように、現場の課題と現場の声をしっかりと国政に届けること、看護の未来を切り開くために看護職員の発言力と政治力を高め、国民の健康と福祉の向上に寄与する使命を果たすことが看護連盟の願いであることが周知されました。

また、審議事項では、2025 年に行われる第 27 回参議院議員選挙候補予定者について会場参加者全員で審議し、賛成者 356 票、反対者 0 票、過半数以上の賛成をもって石田昌宏議員が候補予定者に決定しました。

今回初めて参加させて頂き、看護連盟活動は香川県だけではなく、全国の看護師が力を合わせて行うものであることを改めて感じました。今後も看護職代表議員を国政に送り出す為に、知名度を高めると共に、現場の声を国政に届けられる活動を微力ながら継続して行きたいと思いました。



福井県 林靖子会長と
議長を務める香川県連盟 中村明美会長



日本看護連盟 高原静子会長あいさつ

2023年度
香川県看護連盟

活動 報告

トピックス 役員・支部長研修
4/23 (日)
「カンボジアでの医療と
保健活動」(ランチョン)
講師 楠川富子氏



自己紹介をする
楠川富子氏



みんなで記念撮影

新人研修
7/29 (土)
「期待される看護専門職としての
出発を応援することばと音楽」
講師 杉ノ内柚樹氏



司会 中村明美連盟会長



入院中のお母さんとのメールの
やりとりを語る杉ノ内柚樹氏

「涙そうそう」を熱唱する杉ノ内柚樹氏

4/12(水)、21(金)、24(月)、
26(水)、28(金)、5/12(金)

新人研修
「看護連盟とは」
講師 中村明美会長

